

のうち・みず「てらのかい」

農地・水「手良の会」(伊那市)

・組織の活動面積	A= 約150 ha
・組織の構成員数	約 780 人

組織形態	共同活動 <input checked="" type="checkbox"/>	中山間直接支払 <input type="checkbox"/>	向上活動 <input type="checkbox"/>
取組開始年度	平成24年～	—	—

構成員	農家(地権者)、手良区長会、手良分館長会、手良土地改良区、手良営農組合、農業委員など
-----	--

第1期:手良「環境育成会」から、第2期:農地・水「手良の会」へ進化!

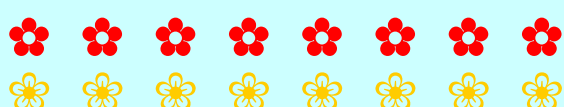
伊那市手良・・・南アルプス「仙丈」と中央アルプスの全貌が1度に見られるこの地で7年間、活動支援交付金を有効に利用し、支部リーダーを中心とした4支部体制で「我:手良」の保全管理活動を実施しています。各支部が独自性を持つての取り組みは、支部間の刺激材料にもなり、会議を通じた意見交換では、先進的な「突っ張り合い」を繰り広げています。そんな「地域保全の流れ」が全体に広がり 今、伊那市手良・・・確実に良くなっています。



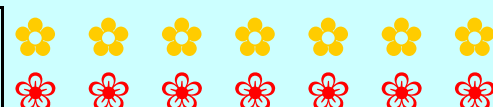
野口支部: 農作業が始まる初春、「病虫害駆除対策作業」が消防団を含めた住民総出で実施される。



中坪支部: 重機を活用し、農道路肩の適正管理を共同活動参加者(地域住民)が行っている。



農地・水「手良の会」



手良地区の人々の中に大きな変化が起きている

下手良支部: 水路の適正管理を実施するため、支部関係者が機能診断を行い、毎年の通水に備える。



ハッ手支部: 耕作放棄地に植栽をして7年、管理は大変ですが、見人の目を楽しませている。

